

今月のコラム

屋内での健康緑化は 元気で長く植物を育てること

株式会社プラネット 大林 修一



■バイオフィリア緑化とLED照明

人は1日の内の90%近くを室内で過ごしているといわれています。オフィスワークの間では、メンタル疾患などの健康被害が多くなってきている現在、建設業界では“ヘルシービルディング”に向かい、WELL認証という国際健康認証の取得を目指しています。そこで「バイオフィリア」という“人間は本能的に自然とのつながりを求める”という考え方から、バイオフィリア緑化の取り組みが世界的に進んでいます。人と植物の共生であり、植物に愛着を持つことによって幸福度や生産性も上がり空気浄化やメンタルヘルスケアもできるということです。また五感(視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚)を刺激させる植物を育てることによって脳の疲労回復ができるとも言われています。開花や香りがある植物を室内で導入することが必要で、愛着を持って育てて開花させることなどがポイントになります。それには、太陽光に代わる太陽光波長を持ったLED照明があれば室内でも容易に育てることができます。

■適正水、肥料管理は空気浄化に影響する

バイオフィリア緑化で長く植物を育てるには、水や肥料の適正管理が重要なポイントになります。屋外と違い、屋内の植物は水も肥料も吸収が少ないため“やり過ぎ”に気を付けなければなりません。一般的に“水やりはたっぷり鉢全体に”と言われていますが、鉢皿に溜まった水をそのままにしておくと、一般土壌では根腐れをしたり吸収しない肥料成分が蓄積したりするので気を付ける必要があります。

植物は二酸化炭素・ホルムアルデヒドなど揮発性化学物質やPM2.5などの微細粉塵の吸収や、乾燥した空気の湿度調整を行い、室内空気の改善に大きく役立っています。この機能は、植物の光合成活動によって行われます。葉の裏には“気孔”という人間でいう口の構造があります。二酸化炭素を吸収し酸素を放出し糖を作り出す光合成と、呼吸である蒸散はこの気孔が主に行います。乾燥しやすい室内では蒸散を旺盛にしますが、その蒸散要求に応じて、根からの水の吸収ができなければ気孔は自分を乾燥から守るために閉じてしまいます。植物が室内にあっても気孔を閉じてしまうと、蒸散も各種空気浄化もしないということになります。



プラネット東京営業所では 生産緑化、生長緑化、循環緑化システムを展示し、各種試験も実施。地下室でも各種植物が開花、生長している

揮発性化学物質の吸収分解は根が行っており、根腐れさせず水を適正に与え、元気な根をいかに多くするかという観点での植物管理が重要なポイントになります。

コロナ禍で園芸需要は大きく伸びています。これをブームではなく継続した需要にするためには、失敗させないことだと思います。屋内でも植物を元気に育ち、空気浄化やメンタルヘルスケアができる屋内緑化の推進をしていきたいと思っています。

(日本インドアグリーン協会理事長、
屋内緑化推進協議会副会長)



カエデ
kaede

花と緑のまちづくり全国首長会支援団体連絡協議会 活動報告

18団体加入、会員約1万人に。

2月には「花と緑のまちづくり」セミナーを開催

当ガーデンを考える会に事務局を置く「花と緑のまちづくり全国首長会支援団体連絡協議会(略称：連絡協議会)」は、花と緑、まちづくりにかかわる主な諸団体18団体、会員約1万人(3月16日現在)と業界が大同団結しつつある。昨年9月1日に設立し、12月24日に第1回目の会議、1月29日に第2回目の会議を開いた。

会議では、連絡協議会は「4月20日に設立総会を開催する」、「目的である全国首長会での情報提供を委員会で検討して進める」、などを決めた。5月18日に淡路島で開催される全国首長会総会にも参加する。

また、2月2日zoomセミナー「花と緑のまちづくり、国の取り組みと業界ビジネスチャンスの活かし方」を、連絡協議会、新しいガーデンを考える会、全国首長会との共催で開催した。



連絡協議会設立に向けて、オンラインで会議を開いた(2020年4月16日、第3回設立説明会)

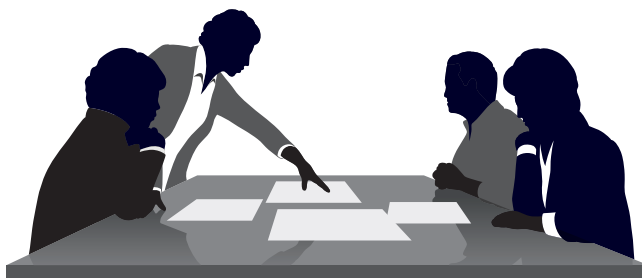
花と緑のまちづくり 全国首長会支援団体連絡協議会 参加18団体一覧

No.	団体名
1	特定非営利活動法人屋上開発研究会
2	屋内緑化推進協議会
3	新しいガーデンを考える会
4	一般社団法人JAG協会
5	一般社団法人ソーシャルグリーンデザイン協会
6	一般社団法人地域緑花技術普及協会
7	都市のみどり研究会
8	公益財団法人都市緑化機構
9	一般社団法人日本インドア・グリーン協会

No.	団体名
10	公益社団法人日本エクステリア建設業協会
11	一般社団法人日本ガーデンセラピー協会
12	一般社団法人日本花き卸売市場協会
13	一般社団法人日本造園組合連合会
14	公益財団法人日本花の会
15	一般財団法人日本花普及センター
16	一般社団法人日本ハンギングバスケット協会
17	ヒートアイランド学会
18	フラワートライアルジャパン実行委員会

★入会募集中★

お気軽に事務局までお問い合わせください





カエデ
kaede



例会セミナーのご案内

2021年4月21日(水)

新しいガーデンを考える会 例会セミナー開催、参加者募集！
～2021年の各業界のトレンド、方向性を占う～

日 時 2021年4月21日(水) 13:30～16:15 (受付 13:00～)
開催方法 WEB 会議ツール「Zoom」を使用したオンラインセミナー
主 催 新しいガーデンを考える会
定 員 300名(先着)
参 加 費 無料
セミナーの詳細・お申し込みはホームページより
申し込み セミナー申込締切日：2021年4月20日(火)



前回2月オンラインセミナーの様子

ご挨拶

「高岡会長による開催挨拶」

13:30～13:40 高岡 伸夫 氏
新しいガーデンを考える会 会長

概要

令和2年より、ガーデンを考える会は「新しいガーデンを考える会」として生まれ変わりました。ガーデン・花あ・緑の業界だけに留まらず異業種・異業界からも衆知を集めた社会に求められる庭・ガーデンの発展を目指しています。

座談会

「春の園芸シーズン到来。 植物の卸売、流通と小売りの最新情報」

13:40～14:25 尾崎 明弘 氏 × 重村 修一郎 氏
オザキフラワーパーク 豊明花き

概要

モデレーターに高岡伸夫氏を迎え、花と緑の卸売や流通など卸売市場の現状やDX化について事例を交えて紹介。また、コロナ禍における世界のガーデンセンターからオザキフラワーパークなど日本の園芸専門店までの近況報告や今後の取り組みなど、幅広い視点で業界の動向を深掘りします。

トーク
セッション

「楽しく・楽しむ・楽しい園芸」 ～初心者目線のめっちゃ楽しい園芸とは～

14:35～15:20 桑田 真也 氏 × 山田 真司 氏
ハイポネックスジャパン タキイ種苗

概要

「おうち時間」という言葉が日常的に使われるほど、自宅で過ごす時間が長くなっている今、庭やベランダ、室内などでガーデニングを始める人が増え、注目度が高まっています。ビギナーが求める園芸の楽しみ方とは何か、今一度考え、人気の植物、新しい肥料など旬な情報や、店舗での売り方など、メーカーが考える仕掛けを語ります。

座談会

「エクステリアのトレンド。新コロナ禍で リフォームの重要性が見直される」

15:30～16:15 大木 哲 氏
千葉グリーンセールス株式会社 代表取締役社長

概要

住宅とガーデン、エクステリア、施工業界の現状と課題。エクステリア業界全体に関わるお話、千葉県地域での現況、自社のお客様の傾向まで、エクステリア(リフォーム)業界その裏側を語ります。



カエデ
kaede

講師紹介



高岡 伸夫
(たかおか のぶお)

ガーデンを考える会 会長

大学卒業後1980年に株式会社タカショーを友人と4人で設立。1989年代表取締役社長に就任。1998年9月にガーデニング業界初の株式上場し、2018年7月には東京証券取引所第一市場へと市場変更を行った。社外では(一社)アジア経営者連合理事長、(一社)日本ガーデンセラピー協会 理事長なども務めている。



尾崎 明弘
(おざき あきひろ)

株式会社オザキフラワーパーク
代表取締役社長

大学卒業後、某ホームセンター勤務を経て、1993年オランダへと渡る。オザキフラワーパークの輸出入業務を行いながら、4年間アムステルダムにてフラワーショップを開業、運営する。帰国後2007年、代表取締役として就任し園芸専門店としてのブランディング強化に努める。社外ではIGCA国際ガーデンセンター協会のアドミニストレーターとして務めている。



重村 修一郎
(しげむら しゅういちろう)

豊明花き株式会社 取締役
経営企画室/企画本部 担当(兼務)

1996年4月豊明花き(株)に入社。入社より経営企画室に所属、2007年8月より新設された販売部WEBチームを兼務にて所管。現在は取締役として経営企画室及び企画本部を担当する。主に経営・事業計画の策定、経営戦略に応じた業務改革、新規事業開発、商品開発に従事。インターネット取引サービス「イロドリ*ミドリ」の開発及び運営の責任者としてDX化を推進し、顧客価値の向上を図る。



桑田 真也
(くわた しんや)

株式会社ハイポネックス ジャパン
取締役 家庭園芸部長

2003年9月、株式会社ハイポネックス ジャパンに入社。入社より東京支店に勤務して、東日本の園芸専門店やホームセンターを中心に一般消費者向けの家庭園芸用資材の営業に従事。本社・大阪へ異動後は、西日本の各所を担当する。また兼務にて生産者向けの営業のほかWEB通信販売事業にも携わる。現在は取締役 家庭園芸部長として、新商品及び既存品の導入強化や販売促進に取り組んでいる。



山田 真司
(やまだ しんじ)

タキイ種苗株式会社 園芸部 課長

京都市下京区にてタキイ種苗(株)園芸部に勤務。北海道から沖縄まで日本全国の園芸専門店を回る。「めっちゃ楽しい」をキーワードに、各地で明るく楽しい講習会も開催中。(3月現在、講習会は中止)



大木 哲
(おおき さとし)

千葉グリーンセールス株式会社
代表取締役社長

千葉大学園芸学部造園学科卒業後1990年に積水ハウス(株)に入社。1995年2月から家業で、エクステリア設計施工会社である、千葉グリーンセールス(株)に入社。2005年1月より、代表取締役社長に。一級造園・一級土木施工管理技士、1級エクステリアプランナーとして、庭の提案〜工事に携わり続けている。(公社)日本エクステリア建設業協会専務理事、千葉県エクステリア事業協同組合理事長、インターネット協同組合理事、平成23年より、地元の小中学校のPTA会長、保護者会会長を7年にわたり務め、地元貢献も積極的に行う。

●参加お申し込みについて

ご参加希望の方は、下記のアドレスからお申込みください。定員に達した場合、お断りさせていただく場合もございます。
<http://npogarden.com/qr/?21042>



●セミナー申込締切日

2021年4月20日(火)

●お問い合わせ

新しいガーデンを考える会 事務局
(NPO法人 ガーデンを考える会)
名古屋事務局／tel 052-571-7911
東京事務局／tel 03-6275-0962